

第 13 回セレン・テルル化学国際会議を開催します

« 5月23日(月) - 27日(金), 長良川国際会議場 »

(岐阜大学工学部 村井利昭教授が国際会議組織委員長)

岐阜大学工学部の村井利昭教授が国際会議組織委員長を務める「セレン・テルル化学国際会議 (ICCST-13)」が、5月23日から27日の間、岐阜市の長良川国際会議場にて開催されます。(主催：第13回セレン・テルル化学国際会議組織委員会 (委員長：岐阜大学工学部教授 村井 利昭), 共催：国立大学法人岐阜大学)

セレン・テルルとは、元素周期表で、酸素・硫黄と同じ族に位置する元素です。セレンは生体微量必須元素の一つであること、テルルは無機化合物太陽電池で重要な位置を占める元素であることなどから、これらに関わる先端研究の成果を発表する場として1971年に第1回の同会議が、ニューヨークで開催されました。今回で13回目を迎え、45年の歴史ある学会です。

セレン・テルルを含む物質は世界の医学の進歩、産業界を大きく牽引する物質であり、我が国はセレン産出国として世界に貢献し続けています。第13回となる本会議は、各国で取り組まれている最先端の研究について、20カ国159名の研究者が一堂に会し、参加者およそ280名を前に成果発表と情報交換を行います。

本会議は長良川国際会議場をメイン会場としていることや、岐阜市を中心とした近隣地域理解を深める目的から、世界遺産美濃和紙観光、鶺鴒遊覧等を企画し、国際都市機能を有する岐阜県を深く理解する一助を担う交流を果たすものであると考えますので、取材方、よろしくお願いたします。

○ スケジュール概要

5月23日(月)	16:30	受付(都ホテル)
	18:00	ウェルカムパーティ(鶺鴒ミュージアムレストラン)
5月24日(火)	9:00	オープニングレセプション(長良川国際会議場)
	10:00	研究発表
	13:00	ポスター発表, 口頭発表
5月25日(水)	9:00	研究発表(長良川国際会議場)
	13:00	地域観光Ⅰ(美濃市:美濃和紙製作体験会)
	19:00	地域観光Ⅱ(岐阜市:鶺鴒遊覧)
5月26日(木)	9:00	研究発表(長良川国際会議場)
	13:00	ポスター発表

	14:00	口頭発表
	15:00	研究発表 (Banquet はアルモニーテラッセで行う)
	19:00	Banquet (opening) 岐阜県総合学園太鼓部演奏
	20:00	Banquet (中間) 岐阜大学邦楽部箏曲合奏
5月27日 (金)	9:00	研究発表 (長良川国際会議場)
	16:00	クロージング

○ **開催に至る経緯**

セレン・テルル化学国際会議は、4年に1回、近年は3年に1回に、米国、スウェーデン、フランス、英国、日本、ドイツ、ブラジル、インド、ポーランド、フィンランドで開催されてきました。日本（大阪）では、1991年に園田昇教授組織委員長の下で開催されています。これまでのすべての会議において、日本からの参加者は、開催国の参加者に次ぐ人数であり、この分野における日本国の貢献度の高さを示しています。そこでこの実績に鑑み、2013年7月に英国で開催された本国際会議における国際組織委員会の要請により、第13回の会議を日本で開催することとなりました。

○ **出席者数および参加国見込み数**

○出席者見込み者数 280名 (国外60名, 国内220名 (内企業10名))

○参加国見込み国 20カ国 (日本, アメリカ, イタリア, インド, オーストラリア, オランダ, カナダ, 韓国, スウェーデン, スペイン, 台湾, 中国, デンマーク, ドイツ, トルコ, ブラジル, フランス, ポーランド, 連合王国, ロシア)

○ **使用言語**

英語

○ **主催**

第13回セレン・テルル化学国際会議組織委員会 (委員長: 岐阜大学工学部教授 村井 利昭)

○ **共催**

国立大学法人 岐阜大学

【本件に関する問い合わせ】
 岐阜大学工学部グローバル化推進室
 TEL : 058-293-2401, E-mail : gpo@gifu-u.ac.jp